

Tsuyama College		Year	2022		Course Title	現代社会と法
Course Information						
Course Code	0009		Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture		Credits	Academic Credit: 2		
Department	Department of Computer and Information Engineering		Student Grade	4th		
Term	Year-round		Classes per Week	1		
Textbook and/or Teaching Materials	「憲法への招待 新版」 渋谷秀樹 岩波書店 , 六法全書					
Instructor	OTA Hajime					
Course Objectives						
学習目的：家の役割を理解していく中で、日本社会の有り様を把握していくとともに、それらの国家が創り出す国際関係についても論究していく。						
到達目標						
◎ 1 日本国憲法の特殊性を理解できる。						
◎ 2 日本国憲法の人権保障について理解できる。						
◎ 3 日本国憲法の統治機構について理解できる。						
Rubric						
	優		良		可	不可
評価項目1	日本国憲法の特殊性について、歴史的、比較法的に理解できる。		日本国憲法の特殊性について、具体的に理解できる。		日本国憲法の特殊性の基礎を理解できる。	左記に達していない。
評価項目2	日本国憲法の人権保障について、歴史的、比較法的に理解できる。		日本国憲法の人権保障について、具体的に理解できる。		日本国憲法の人権保障の基礎を理解できる。	左記に達していない。
評価項目3	日本国憲法の統治機構について、歴史的、比較法的に理解できる。		日本国憲法の統治機構について、具体的に理解できる。		日本国憲法の統治機構の基礎を理解できる。	左記に達していない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・専門の別：一般 学習の分野：国際コミュニケーション 基礎となる学問分野：法学／政治学／経済学 学習教育目標との関連：本科目は学習教育目標⑤「グローバルな視点と社会性の養成」に相当する科目である。 授業の概要：国際化の時代において、国家の役割は相対的に低下しつつあるとはいえ、それに代わる権力組織は存在しない。その働きを、憲法という視点から探っていく。					
Style	授業の方法：テキスト・資料などを適量に分けて概説し、それらに関する質疑応答をおこなう。 成績評価方法： ・ 1 0 0 % = 前期末試験 1 0 0 %					
Notice	履修上の注意：本科目を選択した者は、学年の課程修了のために履修（欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下）が必須である。また、本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて、1単位あたり45時間の学修が必要である。授業時間外の学修については、担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス： 「黙っていても、技術で喰っていける」時代は過ぎ去った。最低限の表現能力は、身につけよう。 事前に行う準備学習は、教科書の該当箇所を読んでおくこと、新聞・テレビ・ラジオなどのニュースの中の、政治的・社会的に重要なものに触れておくこと。 基礎科目：政治経済（2年） 関連科目：異文化社会論Ⅱ（4年） 受講上のアドバイス：「沈黙は金」ではなく、「沈黙は成績不可への道」と思って、積極的に発言しよう。そのために、教科書を事前によく読んで読む。そうした「予習」をやりやすくするために、比較的わかりやすい論理の本を教科書に選んだ。こうして、君の文章読解力も鍛えられるという高専最終学年にふさわしいオールラウンド型の講義となる。 遅刻が多くなった場合は、その時点で、指示を出します。					
Characteristics of Class / Division in Learning						
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
履修選択						
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス	講義の流れ		
		2nd	法学入門（1）	法とは何か		
		3rd	法学入門（2）	法の分類等		
		4th	人権	人権の内容		
		5th	同上	同上		
		6th	同上	同上		
		7th	同上	同上		
		8th	日本の統治構造	3権の関係		

	2nd Quarter	9th	同上	同上
		10th	日本における裁判所の役割	裁判所の役割とその限界
		11th	判例研究 平和主義	判決の理解
		12th	安全保障と平和主義	安全保障と平和主義の関係
		13th	I T 技術とプライバシー	I T 技術とプライバシーの関係
		14th	I T 技術と個人の尊厳	I T 技術と個人の尊厳との関係
		15th	前期末試験	
		16th	前期末試験の返却と解答説明	
2nd Semester	3rd Quarter	1st		
		2nd		
		3rd		
		4th		
		5th		
		6th		
		7th		
		8th		
	4th Quarter	9th		
		10th		
		11th		
		12th		
		13th		
		14th		
		15th		
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20